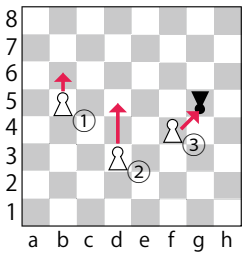
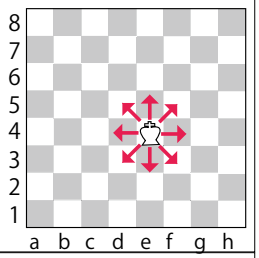
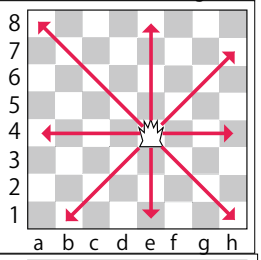
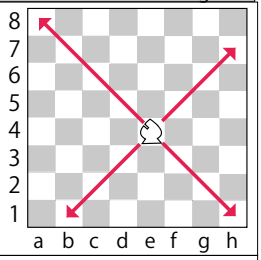
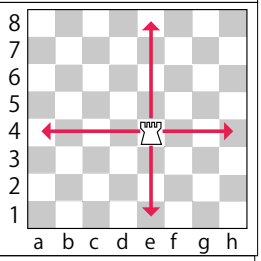
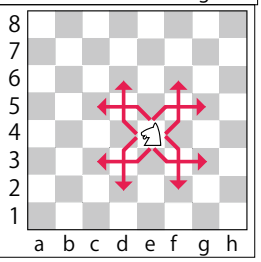
チェスの基本ルール

・片方が白版、片方が黒番となり、白番が先手で指します。
・駒は６種類（下記参照）。キング（将棋の「王将」にあたる）が取られそうな状況を「チェック」といいます。
・キングが逃がれられない状況を「チェックメイト」といいます。将棋の「詰み」にあたり、相手をチェックメイトにしたほうが勝ちです。どちらかが勝ちになるか、両者の合意でドロー（引き分け）になればゲーム終了です。

チェスの駒の種類と動き方

駒の形	大盤での駒の形状	
		ポーン 将棋で言えば「**歩**」に近い駒。基本の動き方は、前に１マス進む（図の①）。最初に動くときだけ２マス進むことができる（図の②）。斜め前の駒をとることができる（図の③）。（「歩」とは異なり、目前の駒は取れない。）敵側の８段目まで到達すると、もっと強い駒に昇格（プロモーション）することができる（将棋の「成り」に近い）。たいていはクイーンに昇格するが、他の駒になることも可能。 
		キング 将棋で言えば「**王将**」にあたる、一番大事な駒。縦横斜めに、１マスずつ移動できる。この駒が詰められると負け。 
		クイーン 将棋で言えば「**飛車**」と「**角**」を合わせたような強力な駒。縦横斜めのいずれの方向にも、何マスでも進める。（ただし、味方や敵の駒を飛び越えて進むことはできない。） 
		ビショップ 将棋で言えば、「**角**」にあたる駒。斜めの方向には何マスでも進める。（ただし、味方や敵の駒を飛び越えて進むことはできない。） 「ビショップ」という呼称は“僧正”を意味する。 
		ルーク 将棋で言えば、「**飛車**」にあたる駒。縦横の方向には何マスでも進める。（ただし、味方や敵の駒を飛び越えて進むことはできない。） 「ルーク」という呼称は“塔、城”を意味する。 
		ナイト 将棋で言えば「**桂馬**」に似た動きをするが、前方だけでなく横方向や後ろ方向にも動けるトリッキーな駒。 「ナイト」という呼称は“騎士”を意味する。